

2025年度 授業コード: 21107000

授業科目	看護マネジメント論				実務家教員担当科目	○	
単位	1	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	隅田 由加里						
授業概要	<p>この授業は、「質の高い医療・看護」の提供を実現するためのマネジメント（看護管理）の学習を通して、「チーム医療を担う看護専門職」としての自己形成を知識、思考判断、意欲、態度から深めることを目的とする。</p> <p>まずは、今まで抽象的に捉えていた「医療・看護の質」の構成要素を「医療安全」と「病棟看護」の観点から整理した上で、医療・看護の質向上のための具体的なマネジメントを、2年次に履修した看護マネジメント総論の基本的知識（意義・目的、マネジメントプロセスとサイクル、組織化、資源管理、質評価）を活用して論理的に創造的に思考する。さらに質の高い医療を全ての対象者に提供するためには多職種との連携・協働が重要であることを理解した上で、チーム医療を担う看護専門職者像をマネジメントの観点から探求する。</p> <p>以上のことは、実務家教員として福岡県看護協会認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」、福岡県看護協会 医療安全管理者養成研修と感染管理者コースを修了し看護管理者としてマネジメント経験を有する教員が担当する。</p> <p>なお、本授業は集中講義として1回あたり2～4コマ連続で実施する。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	<p>*Google classroomwo の活用</p> <p>*アクティブラーニング（反転授業、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション）の活用</p>		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<p>質の高い医療・看護のマネジメントを具体的に思考した上で、チーム医療を担う看護専門職としての理解を深めることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2年次で学修した看護マネジメントの基本的知識である、マネジメントの定義・目的・意義、マネジメントプロセスとサイクル、組織構造、資源管理、看護師に求められる能力、多職種連携・協働に関する知識を想起できる。 質の高い看護の構成要素を抽出した上で、現在の医療現場における、質の高い看護を提供するための看護マネジメント課題を見出すことができる。 抽出した看護マネジメント課題を解決し、効果的・効率的・創造的に質の高い看護を提供するための具体的なマネジメント策を論理的に思考できる。 医療・看護の質向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働が重要であることを理解した上で、社会に貢献できる看護専門職者像をマネジメントの観点から探求できる。 チーム医療を担う看護専門職となることを自覚し、限られた時間の中でセルフマネジメントを実践しながら倫理に基づく節度ある行動ができる。 医療現場の現状を捉え、医療・看護マネジメントの課題・問題を探求し改善策を思考し続ける姿勢を身につけている。 						
理想的レベル	標準レベルに加え、自身の考えを論理的に根拠を踏まえ記述できるとともに、「チーム医療を担う看護専門職」としての自己形成を深めることができる。						

評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト		25				授業最終日に実施します					
レポート		25				レポート課題は授業内で説明します					
発表（口頭、プレゼンテーション）		20				0					
レポート外の提出物		25				質の高い看護の構成要素考え提出してもらいます					
その他		5				授業中の発言や質問など、授業への参加姿勢を評価します					
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31606J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
予習：次回の授業計画に基づいて、テキストや参考資料を読む、調べ学習を行う、課題を行う。 復習：授業での学びを復習する。										4	
授業計画											
第1回	テーマ：看護マネジメントの基礎的知識の想起（授業ガイダンス含む） 担当：隅田由加里 方法：講義と発表 ・看護マネジメントの目的・定義・意義 ・看護マネジメントの3つのレベルと看護マネジメントプロセス（計画化、組織・人事化、指揮、統制） ・組織と組織化 ・資源（ヒト、モノ、カネ、時間、情報）の活用 ・看護師に求められる能力 ・多職種連携・協働、チーム医療 ・医療・看護の質評価										
第2回	テーマ：医療安全管理部（医療事故防止）における質の高い医療のためのマネジメント① 担当：隅田由加里 方法：講義とグループワーク ・医療事故防止における政策 ・政策から考える医療施設における医療安全管理部の組織構造 ・病院における質の高い医療安全の構成要素を抽出する ・抽出した構成要素を実現するための資源（ヒト、モノ、カネ、時間、情報）を活用した方法を思考する										
第3回	テーマ：医療安全管理部（医療事故防止）における質の高い医療のためのマネジメント② 担当：隅田由加里										

	<p>方法：グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院における質の高い医療安全の構成要素を抽出する ・抽出した構成要素を実現するための資源（ヒト、モノ、カネ、時間、情報）を活用した方法を思考する ・抽出した質の高い医療安全の1つの構成要素のマネジメントプロセス（計画化、組織・人事化、指揮、統制）を思考する ・抽出した医療安全のマネジメントの質を評価するための指標を思考する
第4回	<p>テーマ：医療安全管理部（医療事故防止）における質の高い医療のためのマネジメント③</p> <p>担当：隅田由加里</p> <p>方法：発表とディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考した質の高い医療安全のマネジメントをパワーポイントを用いて発表する ・他者の発表を聞き、質の高い医療安全についてディスカッションする
第5回	<p>テーマ：看護管理室・病棟における質の高い看護のためのマネジメント①</p> <p>担当：隅田由加里</p> <p>方法：講義とグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護における政策 ・政策から考える医療施設における看護部の組織構造（看護管理室と病棟の関係性） ・病棟における質の高い看護の構成要素を抽出する ・抽出した構成要素を実現するための資源（ヒト、モノ、カネ、時間、情報）を活用した方法を思考する
第6回	<p>テーマ：看護管理室・病棟における質の高い看護のためのマネジメント②</p> <p>担当：隅田由加里</p> <p>方法：グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟における質の高い看護の構成要素を抽出する ・抽出した構成要素を実現するための資源（ヒト、モノ、カネ、時間、情報）を活用した方法を思考する ・抽出した質の高い看護の1つの構成要素のマネジメントプロセス（計画化、組織・人事化、指揮、統制）を思考する ・抽出した病棟看護のマネジメントの質を評価するための指標を思考する
第7回	<p>テーマ：看護管理室・病棟における質の高い看護のためのマネジメント③</p> <p>担当：隅田由加里</p> <p>方法：発表とディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考した質の高い看護のマネジメントをパワーポイントを用いて発表する ・他者の発表を聞き、質の高い看護についてディスカッションする
第8回	<p>テーマ：チーム医療を担う看護専門職として求められる能力の思考</p> <p>担当：隅田由加里</p> <p>方法：グループワークとディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストの実施（30分） ・多職種・同職種との連携・協働

	<ul style="list-style-type: none"> ・「チーム医療を担う看護専門職」として求められる能力と自身の課題を思考する
テキスト	<p>2年次に購入した</p> <p>「ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理」(メディカ出版)</p> <p>「ナースング・グラフィカ 看護の統合の実践② 医療安全」(メディカ出版)</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・井部俊子 中西睦子監修：看護管理学習テキスト 第1巻～8巻、別巻(日本看護協会出版会) ・上泉一子ら編集：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践① ・中西睦子ら編集：看護サービス管理 医学書院 ・細田満和子：「チーム医療とは何か」医療とケアに活かす社会学からのアプローチ(日本看護協会出版会) ・P.F.ドラッカー著 上田惇生編訳：[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則(ダイヤモンド社) ・岩崎夏海著：もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(ダイヤモンド社) ・杉山良子：ナースのための危険予知トレーニングテキスト(メディカ出版) ・河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー「なぜ間違えるどう防ぐ」(医学書院) ・東京慈恵会医科大学附属病院 看護部・医療安全管理部編著：TeamSTEPSを活用したヒューマンエラー防止策 SBARを中心とした医療安全のコミュニケーションツール(日本看護協会出版会) ・石井遼介：心理的安全のつくりかた(日本能率協会マネジメントセンター)
課題に対するフィードバックの方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題レポートの結果概要はGoogle クラウドルームを活用してフィードバックする 2. 提出された課題は授業内にフィードバックする 2. 小テストの正答はGoogle クラウドルームからフィードバックする
学生へのメッセージ・コメント	<p>これから皆さんは看護職として社会に巣立っていき、様々な医療機関、または地域の施設や企業に就職すると思います。それらの機関は全て組織化され、組織の目標(質の高い医療・看護を提供する)を達成するために、個人でもチームでも、そして組織全体においてもPDCAサイクルを回しながら、より良い医療サービス提供のために思考し実践しており、皆さんもその実践者としてマネジメントを理解する必要があります。またマネジメントとは管理者だけが知り行うものではなく、組織に属するすべての人が実践するものであることを理解し、その知識や技法を修得し、看護総合実習や、来年度からの看護専門職として実践する「看護ケアのマネジメント」に役立ててほしいと思います。</p> <p>そのために、優れた経営者の書いた書籍や、看護管理や医療安全管理の研究論文を活用し、現在のマネジメントの動向や課題を抽出しながら看護専門職としてのあるべき姿を模索してください。</p> <p>最後に、医療・看護を実践するのは人であることを念頭におき、人を活かすマネジメントを実践するためには、物質的要素に加え、互恵的人間関係を構築する協働のスキルやコミュニケーションスキルの重要性を理解し、人間関係論やキャリア形成論などの知識を復習しておきましょう。</p>